

普及活動情勢報告（令和7年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

シシトウの安定生産に向けて ～JA高知県大正シシトウ部会栽培講習会～



栽培講習会の様子

4月9日、JA高知県十和支所で、大正園芸部シシトウ部会が栽培講習会を開催し、生産者10人が参加しました。

農業改良普及所は、令和7年度に計画している高温対策等の説明、SAWACHIの紹介、農薬および農機の安全使用について情報提供を行いました。

生産者からは「寒冷紗の実施は進めるべきだ」、「今年度は農薬事故0を目指していきたい」等の声が聞かれました。

今後も農業改良普及所はJAと連携しながら、シシトウの生産振興に取り組みます。

ショウガの病害対策の確立に向けて ～種根茎の蒸熱消毒の実施～



蒸熱処理の様子

4月9日、JA高知県高西宮農経済センター職員と共に、ショウガ研究部会員の種根茎に対して蒸熱消毒試験を実施しました。

ショウガでは、種根茎に潜伏していた病原菌が、貯蔵時やほ場に持ち込まれて広がる事例が増えており、本年度研究部会員1人のほ場で栽培実証を計画しています。

45℃10分間の蒸熱消毒を行うため何度も試験を行い、9コンテナの種芋の消毒を終えることができました。JA職員からは効果を期待する声が聞かれました。

今後、農業改良普及所は、処理した種根茎の定植後のほ場で、生育への影響や、病害の発生の有無の調査を行い、効果の検証に取り組みます。

市場と生産者との意見交換 ～興津園芸部中間検討会～



中間検討会の様子

3月27日、興津園芸部が、四万十町興津地区で全国の市場関係者を招いた中間検討会を開催し、市場関係者10人、生産者22人が参加しました。

市場関係者からは各市場でのミョウガの取引状況について説明が行われ、生産者からは好まれる色や個数などについて質問が出ていました。

農業改良普及所からは、昨今の興津地域の栽培状況と温暖化による栽培環境の変化に対応して栽培管理を行う必要性を説明しました。また、データ駆動型農業を推進しました。

農業改良普及所は今後も、生産者やJAと協力し、興津地区の主要品目であるミョウガ・ピーマンの生産振興に取り組みます。